

令和4年1月4日

## 新型コロナウイルスの感染の確認について

昨日（1月3日）は、県内で衛生環境研究所、診療・検査医療機関で合わせて190件程度の検査を実施し、新型コロナウイルスの陽性者が3名確認されました。

※診療・検査医療機関では、1日当たり約180件（直近1週間の平均検査件数）の検査を実施しています。（毎週金曜日に計上し、公表）

- ・濃厚接触者及び接触者の検査により判明した陽性者数：なし
- ・上記以外の検査により新たに判明した陽性者数：3名  
（居住地：松山市1名、今治市1名、西条市1名）

※「陽性者の概要」、「症状の有無」、「感染経路等」は、明日以降の陽性者数を累計し、一定数に達した段階で、後日改めて統計的な整理を行い、公表します。

なお、今治市1名については、変異株PCR検査（L452R）を実施し、陰性であったことから、オミクロン株疑い陽性者として、県衛生環境研究所でゲノム解析を実施します。

首都圏・関西圏のみならず、地方都市でも陽性確認の増加傾向がみられており、年末年始の県外往来の活発化により、県内にもウイルスが持ち込まれている可能性があります。普段顔を合わせない人との会合の機会の増加等による感染リスクの高まりを踏まえ、県民や事業者の皆さんにおいては、「年明けの注意事項」の徹底をお願いします。

- 基本的な感染回避行動の改めでの徹底
- 外出時は、混雑した場所や感染リスクの高い場所を避ける
- 新年の業務が始まる職場や授業が始まる学校では、従業員や児童・生徒等体調を確認
- 会食は、認証店など、感染対策が徹底された店舗を利用し、参加者の体調確認や連絡先の把握を徹底
- 体調不良時は、決して出勤や登校は行わず、人との接触を控え、医療機関を受診

県では、感染症法第16条第1項の規定に基づき、感染症の予防のための情報の公表を行います。同第2項により個人情報の保護に留意する必要があります。報道機関各位におかれては、報道に当たり、プライバシー保護に御配慮ください。

# 愛媛県内の状況

【 R4.1.4 9時現在 】

## <封じ込め・終了事例>

事例	公表日	検査数	陰性	陽性	L452R 陽性(+) 陰性(-)	関係者 調査	PCR 検査	健康 観察
対処事例①:1741事例 ※欠番:30事例		39,806	34,394	5,412		●	●	●

## <囲い込み事例>

対処事例②:0事例						●	●	○
-----------	--	--	--	--	--	---	---	---

## <調査中事例>

新規計	1/4	(3) 3	0	(3) 3		○	○	○
上記以外	PCR検査	(6) 70,832	(6) 70,832			-	-	-
	抗原検査	64,460	64,460					
合計		(9) 175,101	(6) 169,686	(3) 5,415	衛生環境研究所等の検査 かかりつけ医等の検査			1件 2件
診療・検査医療機関での検査数 (金曜日に1週間の合計を計上)	前週 1日平均		180件					

【凡例】 ● : 接触者特定済、検査完了、健康観察終了  
○ : 接触者特定中、検査中、健康観察中

※上記の( )内の検査数は、対応中の事例に関して昨日実施した検査並びに衛生環境研究所及び地域外来・検査センターで実施した検査の件数です。

	L452R変異株PCR検査結果 <sup>※1</sup> (R4.1.3以降実施分)				ゲノム解析結果 <sup>※2</sup> (R3.3.1以降実施分)			【参考】 L452R陰性事例数 (陽性者数計)
	検査数	L452R 陰性	L452R 陽性	判定不能 <sup>※3</sup>	アルファ株 (N501Y変異)	デルタ株 (L452R変異)	オミクロン株 (N501Y変異 E484A変異)	
変異株検査	(1) 1	(1) 1	0	0	144	307	0	1事例(+1) (事例合計1人(+1))

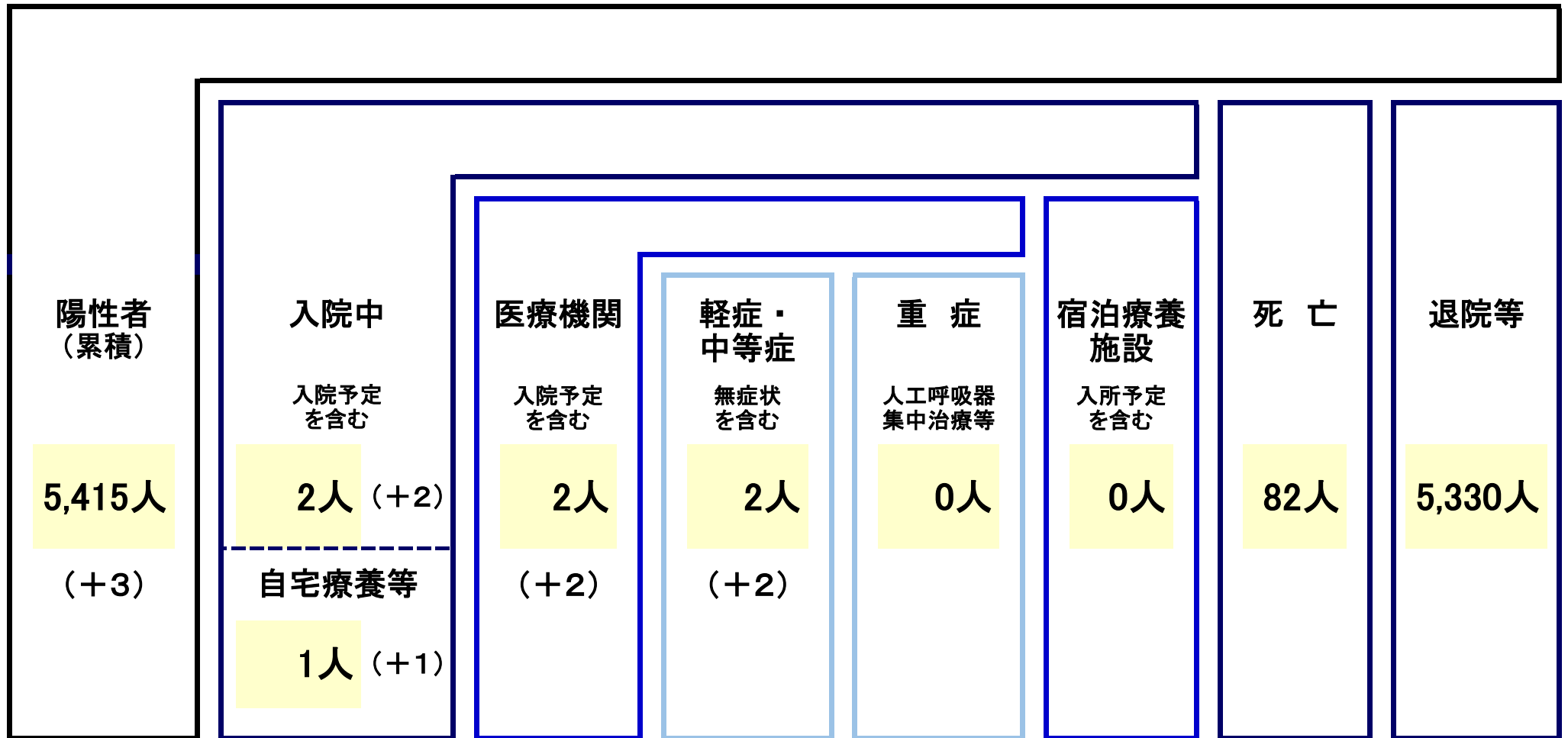
※1 L452R変異株PCR検査は、新型コロナウイルスの陽性が確認された方に対して実施しています。

※2 ゲノム解析結果の「アルファ株」は英国で最初に検出された変異株 (B.1.1.7系統)、「デルタ株」はインドで最初に検出された変異株 (B.1.617.2系統)、「オミクロン株」は南アフリカで最初に検出された変異株 (B.1.1.529系統)として確定された件数を示しています。

※3 「判定不能」は、ウイルス量が少ない等の理由により、変異株であるかどうか判定ができなかった件数を示しています。

# 県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について

令和4年1月4日 9時現在



# 「年明け」の注意事項

## 《年未年始》

- ・ 県外との往来によるウイルスの持ち込み、持ち帰り
- ・ 会食や不特定多数の人混みでの拡散

## 《年明け》

- ・ 家庭や職場などで感染拡大の懸念
- ・ 会食で感染拡大の懸念

- マスクの正しい着用やこまめな手洗い・手指消毒、定期的な換気など、基本的な感染回避行動の徹底
  - 外出時は混雑した場所や感染リスクの高い場所を避ける
  - 事業者や学校は従業員や児童・生徒の体調を確認
  - 会食は認証店など感染対策が徹底された店舗を利用し、参加者の体調確認や連絡先の把握の徹底
- ◎ 体調不良時は外出や出勤、通学を控え、医療機関を受診

# 4つのポイント

① 感染回避行動の継続徹底

(感染防止の基本)

② 体調異変時は休んで受診

(職場・学校への感染拡大阻止)

③ 県外との往来は十分注意

(訪問先の感染動向を事前に確認)

④ 会食はルールを守って実施

(飲食店・会食クラスターの阻止)